



TOPICS

ページ

タイ王国保健省、在タイ日本大使館での意見交換	1
タイ国への調査団参加のお誘い	2
入国後の課外活動の試行	
2023年も作文コンクールを開催します！	3
ピックアップ実習生～西予市野村介護老人保健施設つくし苑	
ベトナムフェスティバルの開会式に出席しました	4
外国人の適切な雇用について	
編集後記	

IPM
30th
ANNIVERSARY
1993-2023



発行：公益財団法人国際労務管理財団（IPM）

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F

http://www.ipm.or.jp/ TEL：03-3354-4841(代) FAX：03-3354-4847

タイ王国保健省、在タイ日本大使館での意見交換

理事長の池田が、タイ王国保健省と在タイ日本国大使館を訪問しました。

6月7日、理事長の池田がタイ王国保健省にて事務次官室であるパッタラポン顧問と面談をしました。IPMでは今年10月にタイのバンコクでブラインドメイク（視覚障がい者が行うメイク）と実習制度に関するセミナーを開催する予定で、今回の訪問ではセミナーへの協力依頼と意見交換を行いました。

ブラインドメイク事業に関して、プロジェクトを長く続けてほしい旨の発言があり、今後のプロジェクト展開への賛同を確認しました。また、この訪問にはタイ王国介護学校協会の理事長とメンバーも参加し、今後の連携のためIPMとの協議を続けていきたいという意向が示されました。



タイ王国保健省パッタラポン顧問と理事長



在タイ日本大使館大場臨時代理大使と理事長

また、6月8日には在タイ日本国大使館を訪問し、大場臨時代理大使と面談を行い、同じく10月に開催予定のセミナーへの協力依頼と意見交換を行いました。タイ国内での障がい者を取り巻く事情や活動についての情報共有がされたほか、「微笑みの国」と言われるタイで「視覚障がい者の笑顔」を目的とする本事業の意義について理解が示されました。

今後は本格的な協力依頼を行うにあたり、緊密に情報共有を行っていくことを双方で確認しました。さらに、タイからの介護人材の受入についての情報交換も行われ、タイでも少子化が進み、日本の介護ビジネスへの注目が高まっていることなどが共有されました。

10月にバンコクにて開催予定のセミナーについては今後、内容についてなど、関係機関と詳細について調整を行い、さらなる協力を求めていく予定となっています。

タイ国への調査団参加のお誘い

「タイ国における介護と労働事情の調査」と題してタイに調査団を派遣することとしました。

タイでは急速に高齢化社会が進展しています。家族だけで高齢者を介護することが困難となり、介護施設等の介護関連サービスへの需要が高まってくることが予想されます。

そこで、当財団は高齢化先進国である日本の介護技術のタイへの移転や、介護インフラ整備へのお役立ちに向け、その前段階としてタイ国における介護や介護労働事情を調査するため、調査団を派遣することにいたしました。

既に第一回調査団が今年の7月16日から20日にタイに派遣され調査が行われました。送出機関を訪問しタイから、日本への介護技能実習生の送出しの現状を視察しました。合わせてタイ王国介護学校協会の方からお話

を伺う機会を設け、タイの介護事情を理解しました。

また、今回の調査団ではタイ王国介護学校協会、送り出し機関のNA BANGKOK社、IPMの三者間でセレモニーも行いましたが、詳細については次回お伝えしたいと思います。

日頃より多くの方からお問い合わせを頂いておりますので、第二回調査団も検討中です。興味のある介護施設の関係者の方々は、この機会に是非ご参加をご検討ください。



セレモニーの様子

入国後の課外活動の試行

入国後研修の一環で、実習生との課外活動を試行しました。課外活動は、日本文化と日本での生活を実習生が学ぶために、実験的に行われたものです。

今回は、浅草・スカイツリー方面と、川越方面で課外活動が行われました。実習生は、引率者から歴史や文化についての説明を聞きながら町を散策し、日本文化への理解を深めました。

また、浅草方面ではスカイツリーに行き、日本での生活の様子を一望しました。川越方面では、抹茶体験を通じて、日本文化を体験していただきました。

課外活動では、日本の生活を知ってもらうために電車で移動しました。引率者は電車



に乗るために、実習生に券売機の使い方を教え、実習生には実際に切符を購入してもらいました。課外活動は日本で生活するために、必要な知識を身に付けてもらう機会でもあります。



今回の課外活動は実験的に行われたものですが、受入れ先企業様と実習生から大変ご好評をいただき、今後は全企業様を対象としてIPMは課外活動を行うことを検討中です。



2023年も作文コンクールを開催します！



公益財団法人国際労務管理財団 (IPM)

最優秀賞…10万円
優秀賞…5万円
努力賞…3万円

IPM日本語 作文コンクール 作品募集！

【スケジュール】

- ・募集開始日…8月1日から
- ・募集締切日…8月31日まで
- ・結果発表日…10月頃

【参加の方法・条件】

- ・原稿用紙 (20×20) 3枚
- ・テーマは自由
- ・作文を会社の人かIPMの人に提出

日本に来てからインパクトのあったこと、毎日感じていること、日本に来てから変わったことなど興味深い刺激的な作文を書きましょう！

沢山の方々からの応募お待ちしております！



今年もIPM日本語作文コンクールが開催されます！
優秀者には賞金もありますので是非ご参加ください

◆賞金

- ・最優秀賞…10万円
- ・優秀賞…5万円
- ・努力賞…3万円

◆スケジュール

- ・応募開始日…8月1日
- ・応募締切日…8月31日
- ・結果発表…10月頃

◆参加の方法・条件

- ・原稿用紙 (20×20) 3枚
- ・テーマは自由です！
- ・提出先…実習先企業 or IPM担当者

作文コンクール担当者からのメッセージ

「今年も作文の季節がきましたよ！みんなのスキルを見せつけてください！」

どんな作文でもいいですから、書いてみましょう！たくさんの作文、待っています！」

たくさんの応募お待ちしております！

ピックアップ実習生～西予市野村介護老人保健施設つくし苑

施設での定期報告会で、実習生2名がモンゴルへの理解増進を目的に、発表を行いました。

発表のためにパワーポイントで資料を作成し、当日はそのパワーポイントを用いて全て日本語で行われました。また、歌を披露し、一曲はモンゴル語の曲でもう一曲はKiroroの『未来へ』を歌いました。

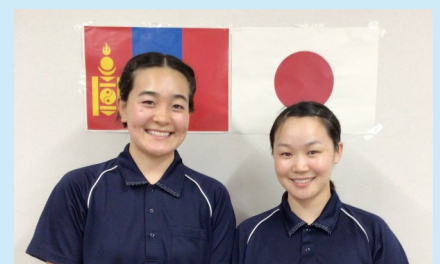
発表会は素晴らしい出来栄であり、施設の就業員の方々は実習生の成長に驚かれています。発表会には施設の利用者の方は参加されていませんが、この2名の実習生は日頃から優秀であり、利用者の方から「この実習生に担当してほしい」などの指名も入るほど頼りにされています。IPM作文コンクールにおいても、一名が優秀賞を受賞され

ています。

実習生の配属時にはプレスリリースや市役所でのインタビューもあり、地域で期待されている注目の実習生でした。今年初めの成人式では地元広報誌の表紙の写真に実習生が起用されたり、地元テレビ局での取材を受けたりしています。

企業担当者によると、実習生は利用者の方々、地域の方々に見守られ日々成長しているとのこと。

つくし苑の実習生



ベトナムフェスティバルの開会式に出席しました

2023年6月3日（土）に行われたベトナムフェスティバルの開会式に、理事長の池田が出席しました。

ベトナムフェスティバルは日越両国において文化的交流の象徴的な祭典であり、今年は秋篠宮家の次女・佳子さまもご出席されました。

IPMはベトナムフェスティバルの協賛企業であり、引き続き日越の懸け橋としてサポートして参ります。



開会式の様子

適切な外国人の雇用について

入管のHPで、外国人の適切な雇用についてリーフレットが発表されました。

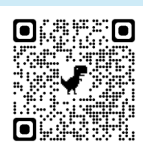
【外国人の適切な雇用における注意点】

- 異文化への理解を深め、お互いを尊重することで誤解が生じないようにしてください
- 外国人を雇用するに当たって、あらかじめ労働条件や、給料の支払いについて丁寧に説明してください。
- 外国人労働者の人権に配慮し、人権侵害等の不適切な行為がないか適切に確認してください

【不法就労防止にご協力ください】

- ①不法滞在者や被退去強制者が働くケース
- ②就労できる在留資格を有していない外国人で、出入国在留管理庁から働く許可を受けていないのに働くケース
- ③出入国在留管理局から認められた範囲を超えて働くケース

不法就労をさせたり、あつせんすれば事業主も処罰の対象になります！

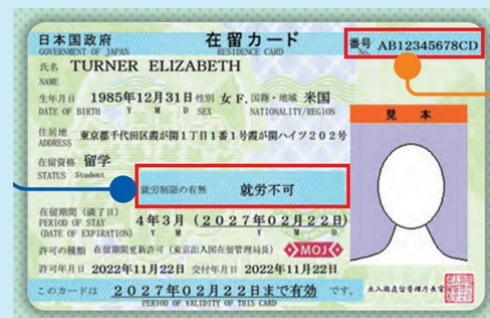


詳細はこちらへ
URL : <https://www.moj.go.jp/isa/content/001396690.pdf>

【在留カードの見方】

確認のポイント①

在留カード表面の「就労制限の有無」欄を確認してください。



確認のポイント②

在留カード裏面の「資格外活動許可欄」を確認してください。



編集後記

コロナウイルスも収束し、ポストコロナの時代に合わせ、IPMは海外視察や海外調査の機会を増やし、世界情勢を把握し、より密な海外と日本の懸け橋になろうと努めてまいります。（手塚）